

南部キリスト教指導者会議（SCLC）記録

Records of the Southern Christian Leadership Conference, 1954-1970.
〔マイクロフィルム版〕

藤田 恵子

はじめに

1957年の創設以来、南部キリスト教指導者会議（SCLC）は、アメリカの政治史とりわけ公民権運動に多大な影響を与えてきた。この組織は非暴力直接行動の理念のもとに、キング牧師（Martin Luther King Jr.）が中心となり、座り込み、フリーダムライド、ボイコットなどを推進した。しかし、非暴力方式を黒人闘争へ採り入れたのは、キング牧師が最初ではなかった。1955年ローザ・パークス（Rosa Parks）という黒人女性がバスの中で白人乗客に座席を譲らず逮捕された事件に端を発したキング牧師によるモントゴメリーでのバス・ボイコットの何年も前に、人種平等会議（CORE）によるシカゴのレストランでの座り込みが行われており、さらに時代を遡ると非暴力という抵抗の手段はキリスト教の発祥時から存在し、ガンディー（Mahatma Gandhi）もその実践者であったのである。

公民権運動の時代において、学生非暴力調整委員会（SNCC）、全米黒人地位向上協会（NAACP）、全国都市同盟（NUL）なども非暴力闘争の一端を担っていたにもかかわらず、キング牧師がそのシンボリック的存在となっているのは、演説や出版物の中で黒人の抱負を伝える表現力に優れていたこと、マスメディアによる宣伝効果をうまく利用したことなどのほか、現地における直接行動の裏で政治交渉も絶えず行っていたことなど様々な要因が考えられる。キング・ライブラリーとマーティン・ルーサー・キング・センターの協力により製作された今回の一連の資料では、SCLCのワーキングペーパー、内部メモ、会議録、現地報告、プレスリリース、パンフレット、その他様々な種類の一次資料のほか、NAACPやSNCC等の組織との通信記録や財務記録、広報活動の記録などの文書類も入手することができる。

キング牧師（1929-1968）について

ジョージア州アトランタのバプティスト派牧師マイケル・ルーサー・キングの息子として生まれる。大衆による非暴力直接行動を数多く組織して、黒人に対する差別の打破、地位向上に大きく寄与した。1963年全国から集まった20万人以上の黒人と白人がワシントン記念塔からリンカーン記念堂まで進んだワシントン大行進における「私には夢がある＝I have a dream」演説は有名で、翌64年ノーベル平和賞を受賞した。1968年4月4日テネシー州メンフィスのホテルで暗殺された。

総合図書館では、4部からなるコレクション全てを所蔵している。以下内容について詳細に述べたいと思う。

第1部 Records of the President's Office

キング牧師はSCLCの1957年の創設時より、1968年4月に暗殺されるまで議長を務めた。第1部にはキング牧師の議長時代の議長室の資料や公的な声明文書が含まれており、シリーズ1は1958-1968年の通信記録で、シリーズ2は1954-1969年の原稿やアポイントメントのカレンダーである。

シリーズ1の通信記録は、SCLC内部の連絡記録の「1次通信記録」と、一般人からキング牧師やSCLCへの通信記録を収めている「2次通信記録」から成る。

1次通信記録では、会議や集会の通知やキング牧師の講演契約や公民権運動にかかわる有名人からの手紙が含まれている。1963年各地でデモが勃発したのをきっかけに、SCLCは公正な雇用、公共施設での差別撤廃、人種差別撤廃計画のための委員会の設置やデモによる逮捕者の告発の取下げを要求して行進した。このアラバマ州バーミンガムのデモの記録

から、キング牧師のノーベル平和賞受賞、アラバマ州セルマの行進、キング牧師のベトナム戦争への反対意見表明など年代順に記録を追っていきけるほか、ラルフ・アバーナシー (Ralph D. Abernathy)、エラ・ベーカー (Ella J. Baker) など通信相手ごとに記録を探することができる。多くのファイルはSCLCと他の公民権運動の組織との関係を示している。

2次通信記録では、聖職者や知識人、政治のリーダーや一般人から寄付の申し出など何千もの支援の手紙がある一方、反対意見も多数あることがわかる。これらは1960年代の人種差別主義者の考え方や反共産主義の一般的な雰囲気や世論を反映している。このシリーズはキング牧師の活動に対する世論の反応だけでなく、公民権運動が日々直面している判断も、たとえそれが建設的であっても否定的であっても詳細に記録している。また多くの手紙に対するキング牧師の返事は彼のとなりや政治的なスタイルを浮き彫りにしている。

シリーズ2はキング牧師の最も重要な演説やエッセイの多くを収録している。1954年までの説教、大きな公民権デモの声明文、J. Edgar Hoover連邦捜査局長官の批評への返事、記者会見や*Playboy Magazine*でのインタビューの写しやアムステルダムニュースのコラムや反ベトナム戦争のスピーチなどのほか、キング牧師の訪問地リストも含まれている。

TELEGRAMS

PRESIDENT JOHN F. KENNEDY
THE WHITE HOUSE
WASHINGTON, D. C.

DEAR MR. KENNEDY:

A VIRTUAL REIGN OF TERROR IS STILL ALIVE IN BIRMINGHAM, ALABAMA. IT IS BY FAR THE WORST BIG CITY IN RACE RELATIONS IN THE UNITED STATES. MUCH OF WHAT HAS GONE ON HAS HAD THE TACIT CONSENT OF HIGH PUBLIC OFFICIALS.

ONCE MORE WE HAVE BEEN SHOCKED BY THE BOMBING OF THE BETHEL BAPTIST CHURCH. IF SUCH ACTS OF VIOLENCE GO UNCHECKED, AND THE GESTAPO-LIKE METHODS OF POLICE OFFICIALS NOT HALTED, WE MAY SEE IN THIS CITY A TRAGIC AND DEVASTATING RACIAL HOLOCAUST.

I APPEAL TO YOU TO USE THE INFLUENCE OF YOUR GREAT OFFICE TO PERSUADE THE PEOPLE OF THIS COMMUNITY TO FACE THE REALITY OF DESEGREGATION. THIS UNFORTUNATE INCIDENT POINTS UP THE IMMEDIATE NEED FOR A WHITE HOUSE CONFERENCE ON DESEGREGATION.

VERY TRULY YOURS,
MARTIN LUTHER KING, JR., PRESIDENT
SOUTHERN CHRISTIAN LEADERSHIP CONFERENCE

ATTORNEY GENERAL ROBERT KENNEDY
THE WHITE HOUSE
WASHINGTON, D. C.

DEAR MR. KENNEDY:

WE REQUEST AN IMMEDIATE AND THOROUGH INVESTIGATION OF THE BOMBING OF THE BETHEL BAPTIST CHURCH IN BIRMINGHAM, ALABAMA ON DECEMBER 14, 1962.

WE HOPE THAT ALL OF THE RESOURCES OF YOUR OFFICE CAN BE BROUGHT TO BEAR TO SEE THAT THOSE RESPONSIBLE FOR THIS CRIME SHALL BE SPEEDILY BROUGHT TO JUSTICE.

VERY TRULY YOURS,
MARTIN LUTHER KING, JR., PRESIDENT
SOUTHERN CHRISTIAN LEADERSHIP CONFERENCE

キング牧師からケネディ大統領とケネディ司法長官への電報 (1962年12月)。バーミングラムでの人種差別とベセル教会爆破事件について申し立てている。

第2部 Records of the Executive Director and Treasurer

1957年から1970年の間の、SCLCの5人の事務局長のうち、ジョン・ティリー (John L. Tilley)、エラ・ベーカー、ワイアット・ウォーカー (Wyatt T. Walker)、アンドリュー・ヤング (Andrew J. Young) の4人の記録が含まれている。

メリーランド州バルティモアの牧師ジョン・ティリーの陣営の記録はわずかであるが、重役会の通知や南部の投票規則に関する文書やSCLCの投票者登録の取組に関する文書が含まれている。Braden夫妻やJames Dombrowskiと南部教育基金会議 (SCEF) との通信記録からSCEFとSCLCの協力関係がわかる。SCLCの規約や議事録、バス・ボイコットのワークキングペーパーなども入手できる。

エラ・ベーカーは1940年代、NAACPで特に南部の公民権指導者との幅広い接点を開拓し、1960年にSCLCを去った後、SNCCの創設に尽力した。ベーカーの記録にはキング牧師の著書『自由への大いなる歩み (*Stride toward freedom*)』の販売促進、SCLCの投票者登録運動の情報が得られる。見所はミシシッピ州のクラークスデイルでのファイル、1960年の非暴力直接行動の作戦に関するSCLCのワークショップである。

ワイアット・ウォーカーは1960年8月にSCLCスタッフに加わり、1960年と1961年のフリーダムライドを組織した。彼はピーターズバーグ公共図書館での人種差別に抗議する座り込みを指揮したり、アラバマ州バーミングラムのデモの準備をしたことで高い評価を得ている。アトランタのレストランでの差別に関するやりとりや、非米活動調査委員会 (下院) の廃止、南部の不公平な選挙についての司法長官のロバート・ケネディ (Robert F. Kennedy) との会合についての文書も含まれている。

アンドリュー・ヤングは、SCLCと世界教会協議会や統一キリスト教会のような主要な宗教団体との仲裁者として彼の役割を果たした。Fred D. Grayとアラバマ州モントゴメリの市長との間にかわされたセルマとモントゴメリの行進についての通信文 (1965)、ミシシッピ自由民主党の文書 (1965) も含まれている。

これら事務局長のファイルのほか、財務担当者の記録と会計監査と事務長の記録、財務諸表があり、月刊、季刊、年刊の決算報告や予算案も含まれてい

る。決算報告書は組織が大きくなるにつれ複雑になり、最初は年に2回作成されたが、1966年までに週刊になった。財務担当者であったアバーナシーの通信ファイルは通信文、メモ、営業報告書と予算書、出版物、演説、説教、訪問地、訴訟に分かれ、メモのシリーズはSCLCの部局で送受信されるものや、アバーナシーと会計係との社内通信も含まれ、SCLC陣営について多くの情報をもたらしてくれる。

第3部 Records of the Public Relations Department

広報部長や研究助手の記録では、教育、交通機関、住宅、飲食店、雇用、婚姻、選挙など日常におけるアフリカ系アメリカ人への様々な差別や不公平に対して、キング牧師やSCLCが運動していることの情報をつかいて大衆に広めてきたかがわかる。この第3部では子どもが実際に受けている人種差別の影響の研究、キング牧師暗殺の追跡調査、シカゴでのデモに対する「白人の巻き返し」、反ベトナム戦争運動との協力、「貧者の行進」の計画メモの文書が得られる。またSCLC奨学金、経済的報復、ハリー・ベラフォンテ (Harry Belafonte) の慈善音楽界への援助などのための資金調達記録や、SCLCの委員会報告書、会計報告書などの総会や役員会の記録も収められている。

カナダ放送によるキング家のドキュメンタリー、CBSの代表的番組「Face the Nation」などのテレビやラジオにキング牧師が出演したこと、ジョージア州アトランタにおける雇用差別の抵抗などのキング牧師の伝記的資料やキング牧師とラルフ・アバーナシーのジョージア州オールバニーでの逮捕の記録からは、マスメディアの関心の高さがうかがえる。

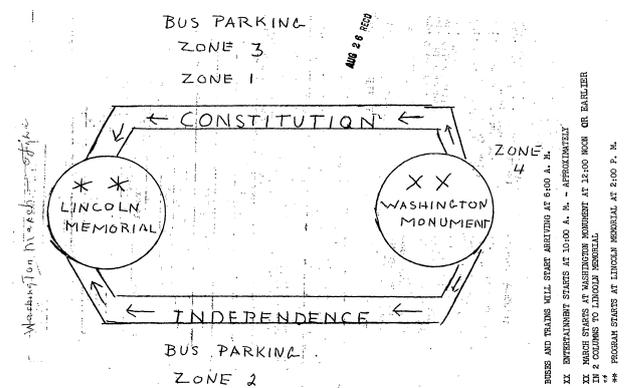
広報部長や助手の通信記録や事務文書のほか、より実質的な資料であるSCLCの報道発表、ニュースレター、パンフレット、ちらしや小冊子も含まれている。核心部である出版物のシリーズの中でも1958年のものは、キング牧師についての重要な声明を3つ含んでいる。すなわち、アイゼンハワー大統領に国家の問題として対応してほしい旨要求した声明、アラバマ州モントゴメリで逮捕されたこと、そして、ニューヨークでの暗殺未遂の後の声明である。

その他主な公民権運動の活動家の伝記や特集記事がある。SNCCの委員長でありブラック・パワーを提唱したストークリー・カーマイケル (Stokely

Carmichael) やワシントン大行進の発案者であるフィリップ・ランドルフ (A. Philip Randolph) などSCLC以外の組織の運動家のものもあり、新聞の切抜きのままのものもある。

第4部 Records of the Program Department

公民権運動の現地報告や調査資料、通信記録などの第一次資料が収められており、コレクションの中で特に利用価値が高い部分と言える。アンドリュー・ヤングとランドルフ・T・ブラックウェルの記録のほか、市民教育プログラム (CEP)、投票者登



ワシントン大行進のマニュアルより

録と政治教育計画、平和教育計画 (PEP)、貧者の行進など個々のプログラムの記録も含まれている。

市民教育プログラムの記録 1956-1967

ハイランダー・フォーク・スクールの社会人教育の指導者であったセプティマ・クラーク (Septima P. Clark) は、読み書きの訓練と政治教育が南部のアフリカ系アメリカ人の投票者登録に積極的に結びつくのだとキング牧師に説明し、CEPは設立された。クラークのファイルからは、テネシー州当局の圧力の中、財政援助者のハイランダーへの協力を失わないようにCEPを創設することがいかに難しいことであったかを物語っている。

SCLCの教育部長であった複数の人物の記録には、教育プログラムの予算案やCEPが頒布した冊子やパンフレット以外にも、このプログラムで読み書きの先生が使ったワークブックが多く含まれている。

平和教育計画の記録 1966-1967

PEPはアフリカ系アメリカ人の地域を反ベトナム

戦争運動に巻き込むよう計画された。このシリーズはアトランタ平和同盟のリーフレットと出版物、広島島のデモ組織のファイル、PEPのディレクターであるBenjamin Van Clarkeのベトナム戦争のエッセイなどで構成されている。PEPの報道発表と同様、ベトナムの夏の行進やキング牧師の反ベトナム戦争の記事の文書も含まれている。

貧者の行進の記録 1968

貧者の行進は1963年の有名なワシントン大行進をモデルとして仕組まれた。それは、貧しい人の窮状を解決する適切なプログラムを政府代表者に申し立てるためにワシントンDCまで巡礼するというものであった。不幸にもSCLCのスタッフで保存されていたほとんどの記録は野営地が警察に敵襲を受けて、居住者が立ち退かされてしまったときに散逸してしまった。豊富ではないものの、残存する記録は重要である。このシリーズは主に報告書、報道発表、出版物から成り、その他逮捕されたデモ参加者のリストや運動の委員会のメンバーや公証人のリスト、運動の宣言書、キング牧師の暗殺に対処した公式文書なども入っている。現地報告からは、多くの州で、特に南部で、草の根レベルでの巡礼の連携があったことが読み取れる。報道発表と投獄されたデモ参加者の弁護を許可する文書もまたこの中に収録されている。

おわりに

『南部キリスト教指導者会議記録』はアフリカ系アメリカ人の差別撤廃運動の長い歴史の中で、投票権関連の憲法改正、5つもの公民権法の制定をもたらした公民権運動時代の記録である。諸団体と連携し非暴力直接行動を成功させることができた背景には、草の根レベルの運動を世界中にアピールした広報部の働きや一般市民からの資金援助、政治的な働きかけなどが相互に関連し合っている。これらを明らかにする一次資料のコレクションを、多人種・多民族のアメリカの人種問題を研究する上で、今後大いに利用していただきたい。

〔この時期の公民権運動に関わる年表〕

1954 連邦最高裁、公立学校での人種別教育を憲法

- 違反と判決（ブラウン判決）
- 1955 ローザ・パークス逮捕
バス・ボイコットが始まる
- 1957 公民権法の成立（黒人の選挙権を保障）
SCLC結成
- 1958 キュー・クラックス・クラン（KKK）の復活
- 1960 座り込み運動が広まる
SNCC結成 NALC結成
公民権法の成立（公民権委員会の権限の強化）
- 1961 ケネディ大統領、平等雇用委員会を設置
フリーダムライドの実施
- 1962 ミシシッピ大学で黒人の入学をめぐる紛争
- 1963 キング牧師によるバーミンガム闘争
ワシントン大行進
- 1964 強力な公民権法の成立（投票権、公共・私営施設、雇用での差別禁止）
ミシシッピ夏期計画の推進
キング牧師ノーベル平和賞受賞
人種暴動「長い暑い夏」が始まる
- 1965 マルコム・X暗殺される
キング牧師によるセルマの行進
公民権法成立（投票権登録の差別撤廃）
ワッツの人種暴動
- 1966 キング牧師のベトナム反戦の提唱
ブラック・パワーの提唱
白人の巻き返し
- 1968 キング牧師の暗殺
公民権法の成立（住宅差別の禁止）
貧者の行進

〔参考文献〕

- ・大谷康夫著『アメリカの黒人と公民権法の歴史』明石書店 2002
- ・中島和子著『黒人の政治参加と第三世紀アメリカの出発』中央大学出版部 1989
- ・ジョン・ホープ・フランクリン著；井出義光〔ほか〕訳『アメリカ黒人の歴史：奴隷から自由へ』研究社出版 1978
- ・猿谷要著『キング牧師とその時代』日本放送出版協会 1994
- ・猿谷要著『アメリカ黒人解放史』サイマル出版会 1968
- ・University Publications of Americaのガイド

（ふじた けいこ 閲覧参考課）